

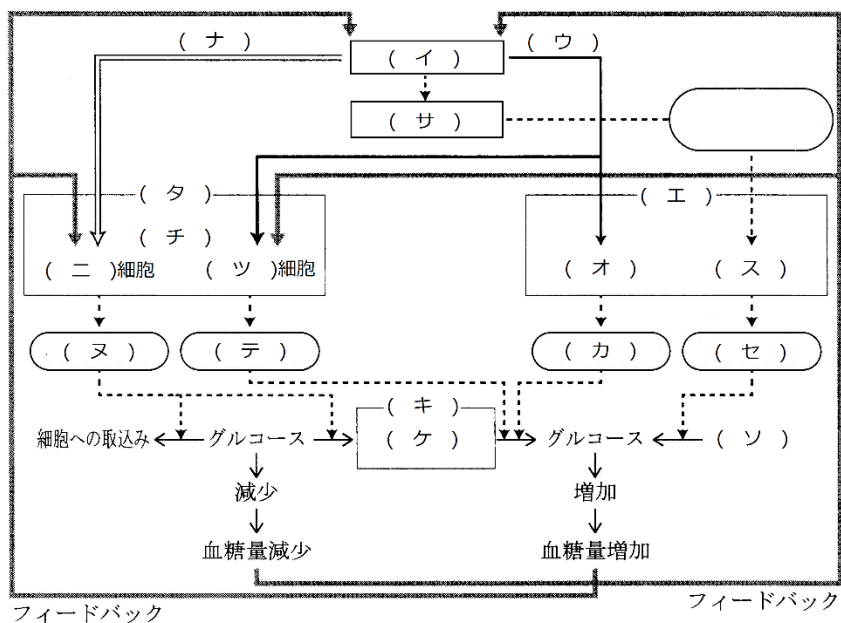
# 復習シート ハイレベル生物① 2学期 12回目

## 第 65 問-2 2学期 内分泌系(その6)

さらに、血糖濃度の低下を受容した(イ)は、(ウ)によって(タ)の(チ)を刺激する。すると(チ)に存在する(ツ)細胞から(テ)が分泌され、(カ)と同様な作用によってグルコースを作り出す反応を促進する。なお、(チ)は独自に(ト)を受容して、(テ)を分泌することができる。これら(カ)・(セ)・(テ)の作用によって生じたグルコースが血液中に出ていくので血糖濃度が上昇する。

一方、血糖濃度の上昇を受容した(イ)は、(ナ)によって(タ)の(チ)を刺激する。すると(チ)に存在する(ニ)細胞から(ヌ)が分泌され、このホルモンによって(キ)・(ク)において、グルコースを(ケ)にする反応が促進される。

また、体中の細胞・組織の(ネ)を促進する。このため、血糖濃度が低下する。なお、(チ)は独自に(ノ)を受容して(ヌ)を分泌することができる。



### 【解答】第2学期 第65問-2

- ア - 0.1    イ - 視床下部    ウ - 交感神経    エ - 副腎    オ - 髄質  
 カ - アドレナリン    キ - 肝臓    ク - 筋肉    ケ - グリコーゲン  
 コ - 副腎皮質刺激ホルモン放出ホルモン(=CRH)    サ - 脳下垂体前葉  
 シ - 副腎皮質刺激ホルモン    ス - 皮質    セ - 糖質コルチコイド    ソ - タンパク質  
 タ - すい臓    チ - ランゲルハンス島    ツ - A    テ - グルカゴン    ト - 血糖濃度の低下  
 ナ - 副交感神経    ニ - B    ヌ - インスリン    ネ - 呼吸    ノ - 血糖濃度の上昇

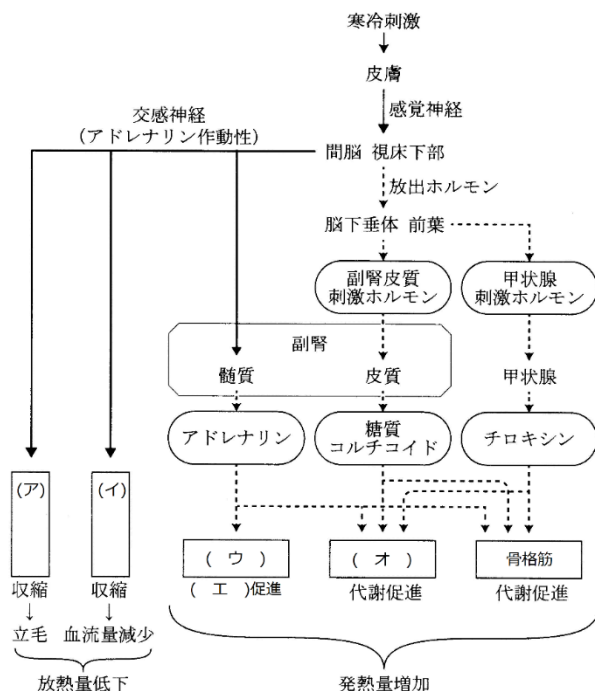
第 66 問 2 学期 内分泌系(その 7)

問 1 次の文章中の空欄(ア～キ)に適する語句を入れよ。

血糖濃度が上昇すると、(ア)中のグルコース濃度も上昇する。腎臓の(イ)では、このグルコースをすべて再吸収する。ところが、血糖濃度が高くなり過ぎると、(ア)のグルコース濃度も上昇しすぎ、すべて再吸収できなくなる。すると、再吸収しきれなかったグルコースが尿中に現われるが、これが糖尿病である。この原因には大きくは 2 つある。1 つは(ウ)の異常による(エ)分泌量の不足で、これを I 型糖尿病という。(ウ)の異常にはいろいろな原因があるが、例えば自己の免疫が(ウ)の(オ)に作用してしまう(カ)がある。

また、(オ)は正常であるが、体中の(エ)の(キ)に異常があつて(エ)、を受容できない場合もあり、これを II 型糖尿病という。

問 2 次の図は、寒冷刺激を受けたときの反応を模式的に表したものである。図中の空欄(ア～オ)に適する語句を入れよ。



【解答】第 2 学期 第 66 問

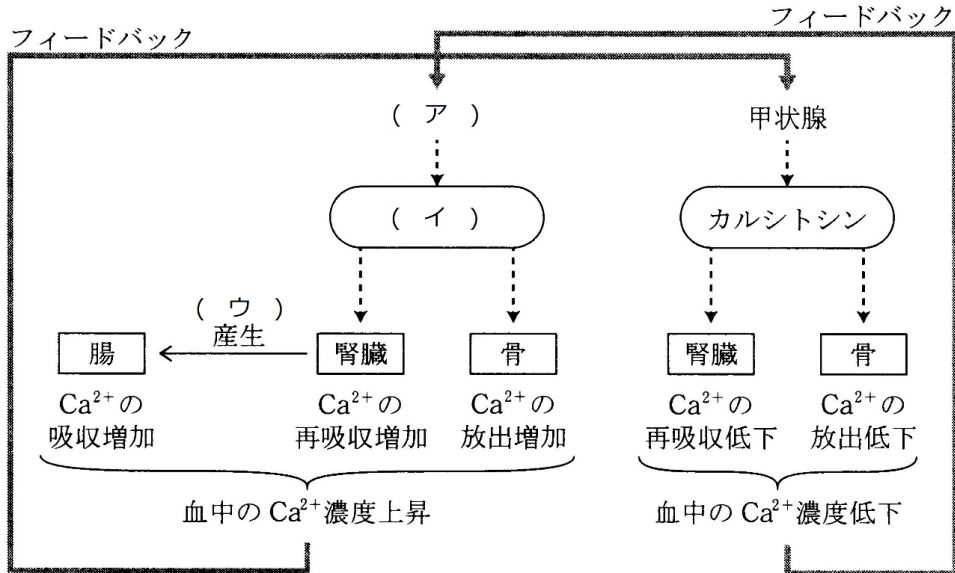
問 1 ア - 原尿 イ - 細尿管 ウ - すい臓 エ - インスリン

オ - ランゲルハンス島 B 細胞 カ - 自己免疫疾患 キ - 受容体

問 2 ア - 立毛筋 イ - 皮膚の血管 ウ - 心臓 エ - 拍動 オ - 肝臓

第 67 問 2 学期 内分泌系(その 8)

問 1 次の図中の空欄(ア～ウ)に適する語句を入れよ。



問 2 カルシウムは、体内でどのような生命現象に関与しているか。「骨の成分に依っている」こと以外に 3 つ以上答えよ。

問 3 骨中の成分(化学物質名)を答えよ。

問 4 ビタミンDの作用を答えよ。25 字程度

【解答】第 2 学期 第 67 問

問 1 ア - 副甲状腺 イ - パラトルモン ウ - ビタミンD

問 2 血液凝固反応の促進・細胞接着タンパク質(カドヘリン)の活性化  
・神経伝達物質やホルモンの放出・筋収縮

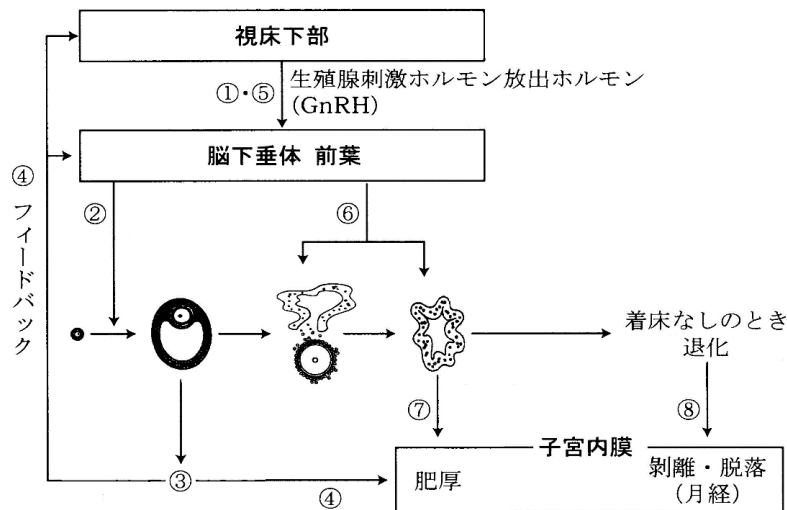
問 3 リン酸カルシウム

問 4 カルシウムの、腸での吸収・骨への沈着を促進する。

第 68 問 2 学期 内分泌系(その 9)

問 下の図を参考にして、次の文章中の空欄(ア～コ)に適する語句を入れよ。

- ①生殖腺刺激ホルモン放出ホルモン(=GnRH)が放出され、脳下垂体前葉が刺激される。
- ②脳下垂体前葉から(ア)が分泌さ、(イ)を刺激する。すると(イ)が成長する。
- ③成長した(イ)から(ウ)が放出される。
- ④(ウ)は子宮内膜を肥厚させるとともに、視床下部・脳下垂体前葉に作用する。
- ⑤(ウ)の(エ)のフィードバックによって生殖腺刺激ホルモン放出ホルモン(=GnRH)が分泌され、脳下垂体前葉を刺激する。
- ⑥すると、脳下垂体前葉から(オ)が分泌され、(イ)に作用する。これによって(カ)が起こる。
- ⑦(イ)は(キ)となって(ク)を分泌する。これによって子宮内膜が肥厚する。
- ⑧着床しないと、(ク)が減少し、子宮内膜が剥離・脱落する。また、生殖腺刺激ホルモン放出ホルモン(GnRH)の分泌が増加し、①に戻る。この 1 サイクルを(ケ)という。
- ⑨妊娠した場合(=着床した場合)は(キ)が維持されたため、(ク)の量が維持される。
- ⑩(ク)が(コ)のフィードバックによって生殖腺刺激ホルモン放出ホルモン(GnRH)の分泌を抑制する。このため次の(カ)が阻止される。



【解答】第 2 学期 第 68 問

- ア - ろ胞刺激ホルモン(=FSH)    イ - ろ胞  
 ウ - エストロゲン(=ろ胞ホルモン=発情ホルモン)    エ - 正  
 オ - 黄体形成ホルモン(=LH)    カ - 排卵    キ - 黄体  
 ク - プロゲステロン(=黄体ホルモン)    ケ - 性周期    コ - 負